

平成22年度

# ビジットおきなわ計画

—観光客数1千万人、観光収入1兆円を目指して—



平成22年3月  
沖縄県観光商工部

## ビジットおきなわ計画とは

「ビジットおきなわ計画」は、将来の観光客数1千万人、観光収入1兆円を目指し、平成19年度より毎年度策定しているものです。「沖縄県観光振興基本計画」や「沖縄県観光振興計画」のもと、単年度ごとの数値目標を設定した具体的な誘客行動計画として位置づけています。

平成22年度は、「九州・沖縄サミット首脳会合」開催10周年、「琉球王国のグスク及び関連遺産群」世界遺産登録10周年という沖縄観光にとって節目となる年です。

「やっぱりいいね おきなわ」をキャッチフレーズに、戦略的な誘客活動をオール沖縄体制で展開し、沖縄観光のさらなる発展につなげて参ります。

## 沖縄観光の現況

### 1 入域観光客数・観光収入の推移

平成21年度の観光客数は570万人(見込み)で、世界的な景気低迷等の影響により、8年ぶりに前年度実績を下回った。

また、それに伴い、観光収入も前年度実績を下回った。

注) H21年度の数値は見込み値

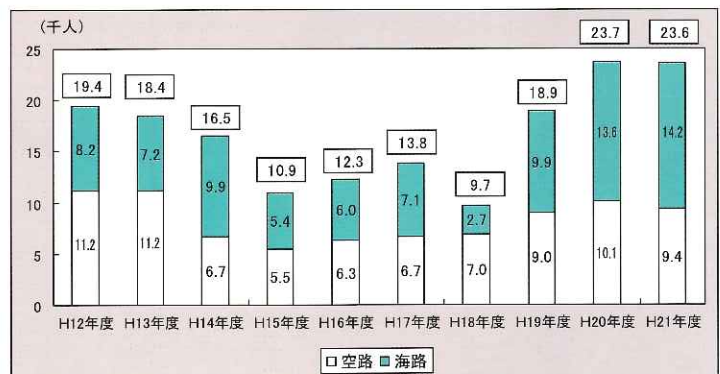


### 2 外国人観光客数の推移

平成21年度の外国人観光客数は、23.6万人(見込み)であった。

空路については前年度を下回ったものの、クルーズ船の寄航が順調に推移し海路が増加したため、合計では前年度並みを維持した。

注) H21年度の数値は見込み値



### 3 観光客1人当たりの消費額及び

#### 平均滞在日数の推移

平成21年度の観光客1人当たり消費額は、7万452円であった。

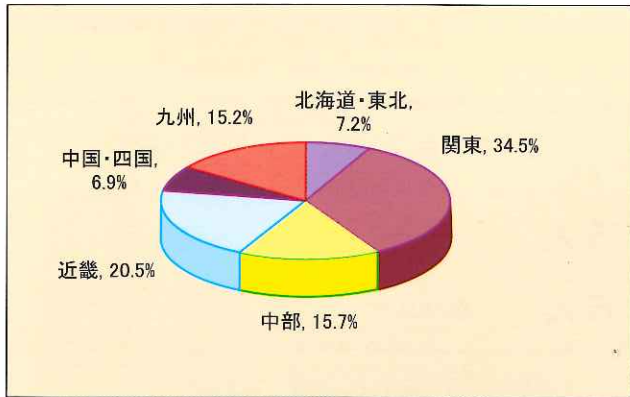
平成20年度の観光客の平均滞在日数は3.71日であった。

注) H21年度の数値は見込み値

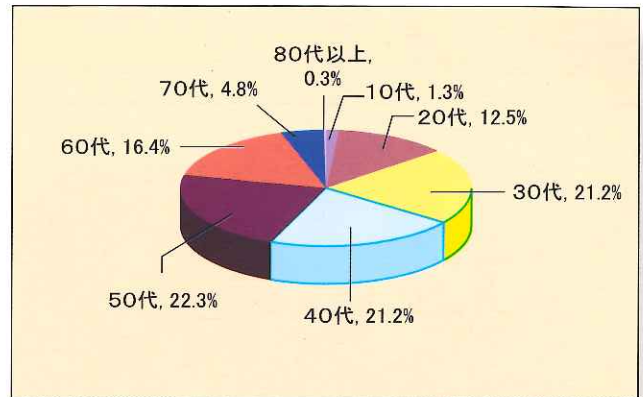


#### 4 観光客の属性 航空機利用の国内客(修学旅行生を除く)を対象とした沖縄県実施のH20年度アンケート結果による

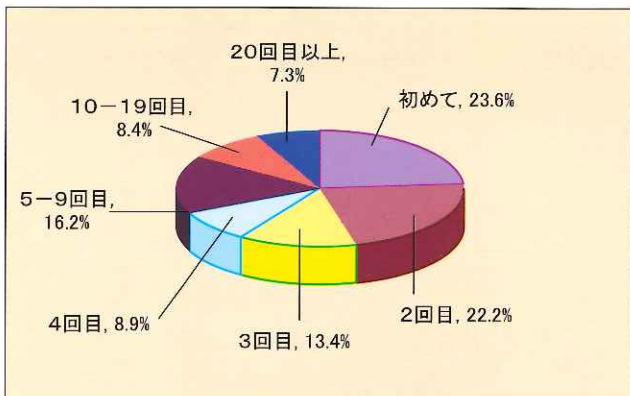
〔居住地〕 関東が34.5%で最多



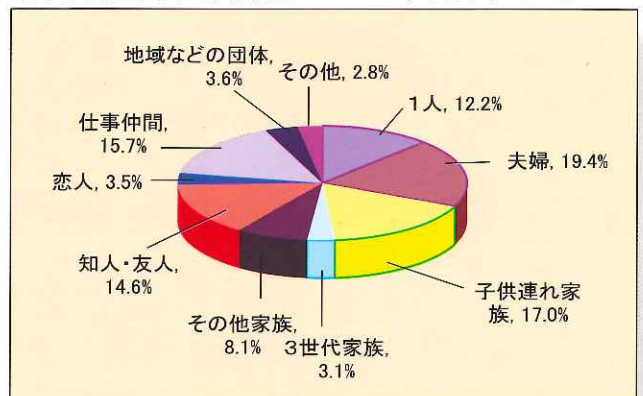
〔年代〕 幅広い年代の方が来訪



〔来訪回数〕 2回目以上の方(リピーター)が76.4%

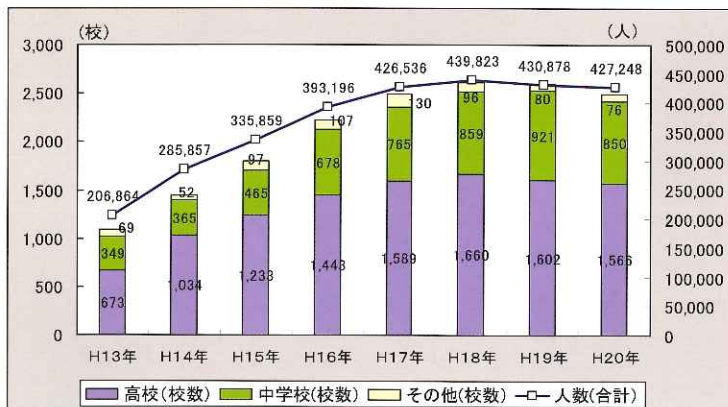


〔同行者〕 夫婦・家族連れが47.6%を占めている

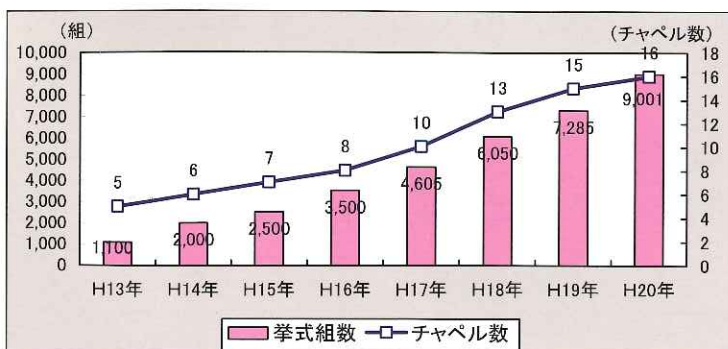


#### 5 特定市場の動向

〔沖縄への修学旅行(校数と人数)〕



〔沖縄リゾートウエディング(挙式組数とチャペル数)〕



〔沖縄MICE(主な国際会議実績)〕

- H12 九州・沖縄サミット首脳会合
- H13 世界のウチナーンチュ大会
- H14 科学技術大学院大学国際学術シンポジウム
- H15 第3回太平洋・島サミット(PALM2003)、2003年TOYOTA世界大会
- H16 第10回国際サンゴ礁シンポジウム
- H17 米州開発銀行(IDB)第46回年次総会・米州投資公社(IIC)第20回年次総会
- H18 第4回太平洋・島サミット(PALM2006)、第4回世界のウチナーンチュ大会
- H19 第21回太平洋学術会議・第7回アジア学術会議
- H20 G8科学技術大臣会合、2008年電気工学技術国際会議(ICEE)
- H21 第5回国際マイクロジャーナル学会学術集会、第16回シクロム P450 国際会議
- H22 APEC 電気通信・情報産業担当大臣会合

## 平成 22 年度の数値目標と誘客戦略

### ■数値目標

項目	平成22年度 目標値 (対平成21年度見込み値比)	平成21年度見込み値
入域観光客数	600万人 (+5.3%)	570.0万人
(うち外国人観光客数)	30万人 (+27.1%)	23.6万人
観光収入	4,380億円 (+9.1%)	4,016億円
観光客一人当たりの県内消費額	7万3,000円 (+3.6%)	7万452円

### ■誘客戦略

#### 平成 22 年度の市場環境と誘客戦略の基本方向

- 平成 22 年度は雇用情勢に厳しさが残るものの、世界経済の回復や子ども手当など家計を支援する施策等により、国内景気は緩やかに回復していくと見込まれている。
- そのため、急激な景気悪化や新型インフルエンザの流行などに大きく影響を受けた平成 21 年度と比較すると、沖縄観光を取り巻く外部環境は改善の方向に向かうと期待される。
- 外部環境好転の機会をとらえ、「やっぱりいいね おきなわ」をキャッチフレーズに、行政と民間が連携して「Happy アイランド沖縄」キャンペーンを新たに展開することや、魅力ある観光関連イベントを開催することなどにより新規市場の開拓を図る。
- また、平成 22 年度を「沖縄インバウンド強化年」と位置づけ、外国人観光客誘致の強化を図る。
- さらに、環境への配慮など沖縄観光の質の向上を図ることにより、より付加価値の高い旅行を促進していくとともに、受入体制の強化により観光客の満足度を高めていく。

### 戦略1：外国人観光客誘致の強化

- ①重点地域(台湾・韓国・中国・香港)の  
プロモーション強化
- ②海外新規市場の開拓
- ③海外への情報発信強化  
(10ヶ国語対応観光Webサイト構築)
- ④新たな委託駐在員の配置



海外での沖縄観光セミナー



海外旅行博での商談風景

### 戦略2：付加価値の高い旅行の促進

- ①修学旅行の誘致強化
- ②滞在型観光の推進
- ③健康保養型観光の推進
- ④MICE誘致の強化
- ⑤エコツーリズムの拡充
- ⑥リゾートウエディングの推進



万国津梁館での国際会議



マングローブの川をカヌーで

### 戦略3：新規市場の開拓

- ①「Happy アイランド沖縄」キャンペーン  
の展開～記念日は沖縄で
- ②魅力あるイベントの拡充
- ③国内主要都市における重点的な  
誘客活動



素敵な記念日を沖縄で



美ら島オキナワCenturyRun

### 戦略4：受入体制強化による満足度の向上

- ①外国人観光客受入体制の強化
- ②ホスピタリティカの向上
- ③安心・安全・快適の追求
- ④環境に配慮した観光地づくりの推進
- ⑤地域における魅力の増進



クルーズ船歓迎式典の様子



観光バリアフリー講習会

# 平成 22 年度の主な施策展開

## 戦略 1 外国人観光客誘致の強化

### ① 重点地域（台湾・韓国・中国・香港）のプロモーション強化

- (1) 海外重点地域（台湾、韓国、中国、香港）の各ニーズに対応したプロモーションを推進する。
- (2) 航空路線の拡充やクルーズ船の誘致を図るため、航空・船会社、政府関係機関への働きかけや、チャーター便誘致に取り組む。

### ② 海外新規市場の開拓（欧米、ロシアなど）の開拓

- (1) JNTO海外事務所と連携し、現地観光事業者に向けた商品造成の働きかけ及び現地における定期的なフォローアップ・プロモーションを行う。
- (2) 欧米からのダイレクトルートの開拓やチャーター便誘致に取り組む。
- (3) 欧米のクルーズ会社に対しトップセールスを行なうほか、商談会への参加を通じてセールスプロモーションを展開する。

### ③ 海外への情報発信強化

- (1) 海外向け観光情報ウェブサイトにおける多言語化（10言語）及びコンテンツの充実を図るとともに、海外旅行社向けに適切な情報発信を行っていく。

### ④ 新たな委託駐在員の配置

- (4) フランス、成都、シンガポール、タイに新たに委託駐在員を配置し、誘客活動の強化を図る。

## 戦略 2 付加価値の高い旅行の促進

### ① 修学旅行の誘致強化

- (1) 県外における「修学旅行説明会」や沖縄へ学校関係者を招聘する「修学旅行現地研修会」を開催する。
- (2) 観光情報サイトや修学旅行ガイドブックの充実を図り情報発信を強化する。
- (3) 修学旅行関係事業者と連携し、民泊をはじめとする体験メニューや離島メニュー等沖縄修学旅行の新たな魅力の創出に努める。

### ② 滞在型観光の推進

- (1) 離島地域などロングステイを推進するモデル地域へのツアーメニュー事業化支援のほか、プロモーションツールの作成、「ロングステイフェア」への出展などを行う。

### ③ 健康保養型観光の推進

- (1) リゾートスパ、海浜ウォーキング、ダイビングなどの健康増進効果を活用した旅行商品の造成を促進する。

### ④ MICE誘致の強化

- (1) 企業が実施するインセンティブツアー、CSR ツーリズム等の誘致のため、旅行社等とタイアップしたセミナーの開催、芸能アトラクション派遣などの開催支援、セールスパンフレットの作成等を行う。
- (2) 国際会議誘致のため、キーパーソン招聘、見本市出展、専門誌による情報発信等を行う。
- (3) 集客効果の高いスポーツイベント誘致のため、ソフト・ハード両面の受入体制整備、国内外関係団体への誘致活動を行う。

### ⑤ エコツーリズムの拡充

- (1) 自然環境に配慮した、安全性の高い高品質なエコツーリズムを推進するため、ウェブサイトやガイドブックによる、良質なエコツアーメニューの情報発信を強化する。
- (2) カーボンオフセットツアーや、サンゴの植え付け、ビーチクリーンへの参加など、環境貢献型ツアーメニューの拡充に努める。

### ⑥ リゾートウエディングの拡充

- (1) アニバーサリーウェディングなど、沖縄ならではの演出によるオリジナルウエディングを拡充し、沖縄リゾートウエディングのブランド力強化を図るとともに、海外からのウエディング誘致を推進する。

## 戦略3 新規市場の開拓

### ① 「Happyアイランド沖縄」キャンペーンの展開 ～ 記念日は沖縄で

(1) 大切な記念日を沖縄で過ごしていただく「Happyアイランド沖縄」キャンペーンを官民一体となって推進する。

### ② 魅力あるイベントの拡充

(1) 新たに「全国エイサー大会」を沖縄県内で開催するほか、地域文化資源を活用した旅行商品造成を支援し、沖縄観光の魅力増進につなげる。

(2) 「沖縄国際映画祭」や「沖縄国際アジア音楽祭」の開催を支援し、誘客拡大の起爆剤とする。

### ③ 国内主要都市における重点的な誘致活動

(1) 「新宿エイサー」や「サンゴの日」イベントなどを通じて、プロモーション活動を積極的に展開する。

## 戦略4 受入体制強化による満足度の向上

### ① 外国人観光客受入体制の強化

(1) 外国人観光客に適切に対応するための「外客受入基礎セミナー」を実施する。

(2) 外国語表記の整備、通訳案内士等の活用、安心・安全ガイドブックの作成等、受入体制の整備を図る。

(3) クルーズ船誘致のため、市町村と連携して歓迎式典など受入体制整備を促進する。

(4) 外国人観光客に対する県民のホスピタリティの向上、受入強化の啓発を図るため、「ウェルカムオキナワキャンペーン（仮称）」を行う。

### ② ホスピタリティ力の向上

(1) 質の高いサービスを提供できる人材の育成のため、OCVB「観光人材育成センター」の多様なセミナーの充実を図る。

(2) 経営者層を対象とした高度なセミナー等の充実を図り、経営の高度化を促進する。

(3) 県民のホスピタリティの醸成と観光業界への理解を深めるため、小学校等での観光教育を推進する。

### ③ 安心・安全・快適の追求

(1) 観光客向けの安全パンフレットや緊急対応マニュアルなどを作成・配布する。また、観光客の安心・安全に対する情報収集、課題解決を目的とした情報交換会を開催する。

(2) 沖縄バリアフリーツアーセンター等との協働による高齢者や障害者の観光のコーディネート機能の強化を図る。

(3) 安全・安心・快適なダイビングサービスの提供に繋げることを目的として、県内ダイビングの現状把握及びダイビングの沖縄型スタンダードモデルを構築する。

### ④ 環境に配慮した観光地づくりの推進

(1) 自然環境等の観光資源を保全しつつ活用するため、利用ルールの策定や環境負荷を軽減させる施設整備などに取り組む市町村を支援する。

### ⑤ 地域における魅力の増進

(1) 観光協会等による着地型観光モデル事業を選定し、アドバイザー派遣やモニターツアーの実施、旅行社招聘等による着地型観光商品の推進及び情報発信を行う。

(2) 市町村における魅力ある地域資源を活用した観光まちづくりの取組を支援する。

## 平成22年度の沖縄県観光関連予算

平成22年度の沖縄県観光関連当初予算（観光費）は約14億5,300万円となっている。

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	
	当初予算額	当初予算額	対前年度比
沖縄県全体の当初予算額	591,928,730	605,463,000	102.3%
観光関連予算(合計)	1,658,647	1,452,675	87.6%
観光客の誘致促進を図るために必要な経費	826,660	519,122	62.8%
観光統計・調査、計画策定、関係機関との連絡調整等に要する経費	194,209	109,250	56.3%
観光客の受入体制の整備等に要する経費	145,269	338,552	233.1%
沖縄観光コンベンションビューロー運営に必要な経費	187,573	170,734	91.0%
沖縄コンベンションセンター・万国津梁館の管理運営等及び各種コンベンション誘致・支援に要する経費	302,038	307,311	101.7%
その他	2,898	7,706	265.9%

※当初予算額であり、補正予算は含まれていない。

## 平成22年度の主な観光関連イベント

魅力ある観光関連イベントが、年間を通じて県内各地で開催される。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
東京ガールズコレクションイン沖縄【新規】	■											
琉球海炎祭	■											
トライアスロン(石垣島、宮古島)	■											
那覇ハーリー		■										
プロ野球公式戦(ベイスターズ対ヤクルトスワローズ)【新規】			■									
全国高校総体(美ら島沖縄総体2010)【新規】				■	■							
一人のエイサーおどり隊					■							
沖縄全島エイサー祭り、青年ふるさとエイサーまつり						■						
全国エイサー大会【新規】							■					
那覇大綱引き								■				
APEC電気通信・情報産業大臣会合【新規】									■			
世界遺産登録10周年記念シンポジウム【新規】										■		
ツール・ド・おきなわ2010											■	
第26回NAHAマラソン												■
美ら島オキナワCenturyRun2011												■
沖縄3大桜祭り												■
プロ野球春季キャンプ												■
「三線の日(3月4日)」、「サンゴの日(3月5日)」等												■
第3回沖縄国際映画祭、第2回沖縄国際アジア音楽祭												■

## 計画の進捗管理

民間事業者等と定期的に観光マーケティングに関する意見交換を行う場を設け、その中で計画の進捗状況について情報を共有するとともに、次年度計画の策定に向けた準備を行う。

〔編集・発行〕

沖縄県観光商工部観光企画課

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎 1-2-2

TEL:098-866-2763 FAX:098-866-2767

